

政策シート (政策名) 美術館の魅力の創出

(予算費目名) 美術館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

市民の芸術文化活動を促進するため、市民文化の創造拠点として、また、優れた美術作品の鑑賞機会を提供するなど、多様なニーズに応えることができる美術館として、事業の充実を図る。また、新美術館構想策定に向けた調査・研究を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	66,610	110,811
決算	63,101	
人件費(A)	51,800	51,800
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	114,901	162,611

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
展覧会入場者の満足度(来場者アンケート)	%	70	目標	70	70
			実績	83	
施設の満足度(来場者アンケート)	%	50	目標	50	50
			実績	74	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

市民の芸術文化活動を促進するため、市民文化の創造拠点として、また、優れた美術作品の鑑賞機会を提供するなど、多様なニーズに応えることができる美術館として、事業の充実を図る。また、新美術館構想策定に向けた調査・研究を行う。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 達成

- ・ 展覧会観覧者数が、目標の51,000人に対し、38,724人と目標を下回ってはいるが、来場者アンケートでは満足度が83%と高かった。集客につながる展覧会や広報手法など検討が必要である。
- ・ 施設整備事業として、老朽化した空調設備等改修の実施設計を予定していたが、設計概要の見直しがあったため、次年度予算へと繰り延べとなった。また、施設整備として、展示室のLED化に向けた改修工事と外部通路のユニバーサル化として拡幅工事を行った。
- ・ 新美術館については、引き続き調査・研究を行ったが、あり方や方向性など庁内レベルでの検討も必要である。

平成28年度

(管理番号)
06 01 08 01 00633000(担当課)
美術館(責任者)
飯室 仁志(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	美術館運営事業	○	○	○		77,819	55,419	3.0			0.5	
2	美術館展覧会開催事業	○		○		78,108	52,208	3.5			0.5	
3	新美術館構想策定調査事業			○		4,000	500	0.5				
4	美術館資料購入基金積立金					2,124	2,124					
5	美術館運営経費(一般諸経費のみ)					560	560					
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						162,611	110,811	7.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 美術館運営事業

◇事業目的・事業対象

美術館施設・設備を適切に維持管理し、良好な美術館環境を保ち、適切な美術館運営を図る。また、美術館資料の収集及び収蔵品の適切な保存管理を行う。

◇事業の概要

- 美術館維持管理事業
 - ・施設の清掃、警備、くん蒸及び消防・空調設備等の維持管理等
- 美術館施設整備事業
 - ・【重点戦略項目No.110】 老朽化した空調設備等改修のための実施設計業務
 - ・その他必要に応じた施設の改修工事
- 美術館資料収集保存事業
 - ・収蔵品の保全・保存を図るための修復や額装
 - ・ガラス絵などの額縁や作品展示ケースの修繕など

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	25,450	55,419
	決算	23,869	
	国・県支出		
	市債		
	その他	7,777	6,362
	一般財源	16,092	49,057
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		22,400	22,400
人工	正規	3.0	3.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.5	0.5

◇事業の指標 (H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
空調設備整備工事の実施				—	110
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	工事の設計			達成	—
実績値	未着手				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 美術館維持管理事業
 - ・施設の清掃、警備、くん蒸及び消防・空調設備等の維持管理等
- 美術館施設整備事業
 - ・【重点戦略項目No.110】 老朽化した空調設備等改修のための実施設計業務
 - ・その他必要に応じた施設の改修工事
- 美術館資料収集保存事業
 - ・収蔵品の保全・保存を図るための修復や額装
 - ・ガラス絵などの額縁や作品展示ケースの修繕など

・事業の成果と課題

指標の達成度

○美術館維持管理事業
施設の清掃、空調、電気設備等の適切な保守点検により、概ね良好な維持管理ができた。しかし、空調設備等の老朽化が顕著であるため改修の必要性が生じている。

○美術館施設整備事業
老朽化した空調設備等改修の実施設計を予定していたが、引佐収蔵庫の整備スケジュール等との調整を図り、設計概要の見直しを行ったため、実施設計を平成28年度へと繰り延べした。その他、施設整備として、展示室照明のLED化に向けた配線ダクトの改修工事と建物北側通路のユニバーサル化として拡幅工事を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工

・施設は開館から44年が経過し老朽化が顕著となったが、適切な維持管理と整備により、来館者へ概ね良好な施設サービスの提供ができた。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工

・施設設備等の老朽化に伴い、平成29年度に約7ヶ月間休館とし、大規模な改修工事を実施し長寿命化を図る。また、リニューアルによる来館者への施設サービスの向上にも努める。
・指定管理者制度の導入については、課題等も含め慎重に検討・研究をしていく。

・事業の分類

大分類 細分類

補助シート (事業名) 美術館運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
110	美術館空調設備等改修 工事実施設計業務	現収蔵庫にある所蔵品 の新たな収蔵品保管施 設への移転計画作成	美術館空調設備等改修 工事	

事業シート (事業名) 美術館展覧会開催事業

◇事業目的・事業対象

市民に優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、市民の芸術文化の向上を図るとともに、「創造都市・浜松」の実現に寄与する。

◇事業の概要

- 平常展開催事業
 - ・館蔵品展を2回、市展の開催
- 企画展開催事業
 - ・曾宮一念と山本丘人(H27.11.14~12.25)
- 特別展開催事業
 - ・マリー・ローランサン展(H27.6.20~8.23)
 - ・エリック・サティとその時代展(H27.9.12~11/1)
- 教育普及事業
 - ・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など
 - ・教員向け研修
 - ・市民協働事業(浜松市とスイス・ベルン市の絵画交流展、アートルネッサンス in はままつ)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○		○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	37,966	52,208
	決算	36,660	
	国・県支出		
	市債		
	その他	23,743	25,615
	一般財源	12,917	26,593
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		25,900	25,900
人工	正規	3.5	3.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
展覧会観覧者数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	51,000	55,500			61,000
実績値	38,724				
市展応募作品数(点)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	350	350			350
実績値	322				
市展応募作品数(点)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
市展応募作品数(点)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 平常展開催事業
 - ・館蔵品展を2回、市展の開催
- 企画展開催事業
 - ・曾宮一念と山本丘人(H27.11.14~12.25)
- 特別展開催事業
 - ・マリー・ローランサン展(H27.6.20~8.23)
 - ・エリック・サティとその時代展(H27.9.12~11/1)
- 教育普及事業
 - ・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など
 - ・教員向け研修
 - ・市民協働事業(浜松市とスイス・ベルン市の絵画交流展、アートルネッサンス in はままつ)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・展覧会(館蔵品展、特別展、企画展)の観覧者数は36,859人(H28.2月末)で、目標の51,000人を下回った。また、市展応募作品数は322点であり、目標の350点を下回った。
 ・「エリック・サティとその時代展」では、浜松国際ピアノコンクール開催記念として音楽とのコラボレーションを試み展示室内でのピアノ演奏やピアノコンサートなどを実施したが、展覧会とコンクールの開催時期のタイミングの不一致などもあり、音楽層の誘客には至らなかった。

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・展示準備の調整や他館との巡回スケジュール等により、特別展2本、企画展1本となり、館蔵品展を含む開催日数は前年より少なく220日間であった。
 ・教育普及事業では、ワークショップ、出前講座などを実施し、延べ2,651人の参加があった。また、浜松市とスイス・ベルン市の絵画交流展に市内小学生から1,700点応募があり、アートルネッサンスinはままつ2015には53店舗、作家58人の参加があった。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・展覧会の企画は数年前から進めていくため、施設状況や集客効果、ニーズ、巡回スケジュールなど十分企画内容を調査・把握し、展覧会の本数、開催日数を考慮し事業を進めていく。
 また、展覧会の実施方法には、直営方式と実行委員会方式がある。展覧会の事業効果や共催者との関係などを含め、効率面やコスト面など検討し事業を進めていく。
 ・教育普及事業においては、児童・生徒、教員も含め学校関係が多く参加している。引き続き、美術館の活用を促していく。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 新美術館構想策定調査事業

◇事業目的・事業対象

新美術館構想策定に向けた調査・研究を行う。

◇事業の概要

他都市施設の調査・研究を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	一般会計	自治事務(その他)		—		○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	500	500
	決算	447	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	447	500
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

他都市施設の調査・研究を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・先進事例などの調査を実施した。
- ・新美術館構想は、平成22年3月に基本構想を策定したが、以後進捗がない。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・先進事例の調査、全国の美術館の動向、文化庁協議・指導など新美術館構想に向け事業実施した。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・新美術館のあり方や方向性など、庁内レベルでの検討を実施していく。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 調査・研究

事業シート (事業名) 美術館資料購入基金積立金

◇事業目的・事業対象

基金の利息や寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。

◇事業の概要

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市美術館資料購入基金に関する条例	—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,134	2,124
	決算	1,634	
	国・県支出		
	市債		
	その他	1,634	2,124
一般財源			
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
美術館資料購入基金への寄附者(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1	1			1
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
06 01 08 01 00633000

(担当課)
美術館

(責任者)
飯室 仁志

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

美術館資料購入基金への寄附者なし。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・運用利息の積み立てを行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き運用利息の積み立てを行う。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 美術館運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	560	560
	決算	491	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	491	560
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 運営経費(諸経費のみ)

政策シート (政策名) 美術館の魅力の創出

(予算費目名) 秋野不矩美術館費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

秋野不矩美術館の管理運営と資料の収集・保存を行い、市民に優れた鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動を支援する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	56,926	57,238
決算	54,187	
人件費(A)	23,800	23,800
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	77,987	81,038

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
市民ギャラリー利用日数	日	80	目標	60	60
			実績	85	
入館者数	人	54,000	目標	54,000	54,000
			実績	33,197	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

秋野不矩美術館の管理運営と資料の収集・保存を行い、市民に優れた鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化活動を支援する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 達成

- ・ 開館時以来設置され、老朽化により使用できなかった監視カメラを更新し、適切な施設の維持管理をし、来館者・利用者に適切な文化的サービスを提供できた。
- ・ 秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。
- ・ 所蔵品展、特別展とともに入館者数が目標には達しなかったものの、前年度より11%増加し、より一層、秋野不矩の作品、業績を広く広めるとともに理解を深めてもらうことができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	秋野不矩美術館運営事業	○	○			31,310	17,310	1.6			1.0	
2	秋野不矩美術館展覧会開催事業	○	○			49,325	39,525	1.4				
3	秋野不矩美術館運営経費					403	403					
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						81,038	57,238	3.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 秋野不矩美術館運営事業

◇事業目的・事業対象

文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績を広く紹介し、全国に情報発信するため、秋野不矩美術館の管理運営と秋野不矩資料の収集・保存を図る。

◇事業の概要

○維持管理事業

快適な美術鑑賞の場を提供するほか、市民の創作活動の発表の場として市民ギャラリーの貸出を行うなど、当館の適正な維持管理に努める。

○施設整備事業

展示室内及び収蔵庫前に設置されている監視カメラの設備機器を更新する。

○資料収集保存事業

秋野不矩画伯の作品の資料充実を図るため、計画的に作品の修復を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10	-	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	20,601	17,310
	決算	19,641	
	国・県支出		
	市債		
	その他	550	390
	一般財源	19,091	16,920
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		14,000	14,000
人工	正規	1.6	1.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤	1.0	1.0

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市民ギャラリー利用日数				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	60	60			80
実績値	85				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○維持管理事業
 快適な美術鑑賞の場を提供するほか、市民の創作活動の発表の場として市民ギャラリーの貸出を行うなど、当館の適正な維持管理に努める。

○施設整備事業
 展示室内及び収蔵庫前に設置されている監視カメラの設備機器を更新する。

○資料収集保存事業
 秋野不矩画伯の作品の資料充実を図るため、計画的に作品の修復を進める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・所蔵品展を168日間(静岡県立美術館移動美術展を含む)、特別展を110日間開催するとともに、企画展示室を市民ギャラリーとして85日間利用していただくなど、施設を活用して来館者・利用者に適切な文化的サービスが提供できた。
- ・開館時以来設置され、老朽化により使用できなかった監視カメラを更新し適切な施設の維持管理をすることができた。
- ・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設の適正な維持管理に努め、来館者が快適な美術鑑賞の場として、また市民が意欲的な創作活動の発表の場とすることができた。
- ・秋野不矩画伯の作品を修復し、所蔵品の充実を図ることができた。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を、展示事業や芸術普及事業などにより活用していく。
- ・経年経過による老朽化した設備等の修繕(更新)工事を計画的に進めていく。
- ・秋野不矩の作品の収集を計画的に進めていく。
- ・周辺の文化施設等と連携し、文化振興や地域振興を促進する。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 秋野不矩美術館展覧会開催事業

◇事業目的・事業対象

文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績を広く紹介するため、本館所蔵の作品を展示する所蔵品展を開催する。また、秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術を理解するため特別展を開催する。

◇事業の概要

○所蔵品展開催事業

本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年6回開催する。

○特別展開催事業

秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術の理解を深めるため特別展を年3回開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H10	-	一般会計	自治事務(その他)	博物館法	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	35,920	39,525
	決算	34,266	
	国・県支出		
	市債		
	その他	13,357	17,571
	一般財源	20,909	21,954
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,800	9,800
人工	正規	1.4	1.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
所蔵品展入館者数					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	20000	20000			20000
実績値	15055				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
特別展入館者数					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	34000	34000			34000
実績値	18142				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○所蔵品展開催事業
本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年6回開催する。
○特別展開催事業
秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術の理解を深めるため特別展を年3回開催する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・所蔵品展を168日間(静岡県立美術館移動美術展を含む)開催し、15,055人の来館者に秋野不矩の作品、業績を広く紹介した。
・特別展を110日間開催し、18,142人の来館者に秋野不矩を取り巻く作家たちの作品を紹介することで、秋野不矩作品に対する理解を深める場を提供した。

・事業の改善と見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
・所蔵品展、特別展ともに入館者数が目標には達しなかったものの、前年度より11%増加し、より一層、秋野不矩の作品、業績を広く広めるとともに理解を深めてもらうことができた。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工
・専門職員(学芸員)による調査研究の成果を活かし、企画等を工夫することにより、誘客に努めていく。
・新東名(愛知県内)開通による集客増を図るため、各種媒体を活用した広報活動を展開していく。
・入館者数の増加に伴う展覧会の収支比率の向上を図る。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 秋野不矩美術館運営経費

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	405	403
	決算	280	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	280	403
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標 (H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 運営経費(諸経費のみ)